

「道路メンテナンス技術集団」の一員として職員を派遣、直轄診断を実施

平成 30 年度の直轄診断が天大橋（鹿児島県薩摩川内市）で行われ、土木研究所から専門家として構造物メンテナンス研究センターの石田上席研究員と先端材料資源研究センターの古賀上席研究員を派遣しました。

直轄診断は「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うものです。

■天大橋（鹿児島県薩摩川内市）

実施日：平成 31 年 2 月 18 日（月）

直轄診断実施主体：九州地方整備局

派遣者：構造物メンテナンス研究センター 石田上席研究員

先端材料資源研究センター 古賀上席研究員

構造物メンテナンス研究センター（CAESAR）<https://www.pwri.go.jp/caesar/index-j.html>

先端材料資源研究センター（iMaRRC）<https://www.pwri.go.jp/team/imarrc/index.html>



天大橋外観



現地調査の様子（箱桁内）



現地調査終了後の道路メンテナンス技術集団から
管理者（薩摩川内市）への報告



道路メンテナンス技術集団